

資料 02 の補足

資料 02 で

$$0 < a < 1 \ \& \ 0 < b < 1 \implies ab \leq \frac{1}{4} \text{ or } (1-a)(1-b) \leq \frac{1}{4} \cdots (*)$$

が「真」であることを、直接法と背理法により示した。ここでは、対偶法を試みる。

(*) の対偶は

$$ab > \frac{1}{4} \ \& \ (1-a)(1-b) > \frac{1}{4} \implies \text{not}(0 < a < 1) \text{ or } \text{not}(0 < b < 1)$$

で、これは

$$ab > \frac{1}{4} \ \& \ (1-a)(1-b) > \frac{1}{4} \ \& \ 0 < a < 1 \implies \text{not}(0 < b < 1) \cdots (**)$$

と同値である（各自確認せよ）。よって、(*) が「真」であることを対偶法で示すには (**) が「真」であることを示せばよい。

解

$$ab > \frac{1}{4} \ \& \ 0 < a \text{ より}, b > \frac{1}{4a} > 0 \quad \therefore 0 < b \cdots ①$$

$$(1-a)(1-b) > \frac{1}{4} \ \& \ a < 1 \text{ より}, 1-b > \frac{1}{4(1-a)} > 0 \quad \therefore b < 1 \cdots ②$$

よって、①、② より $0 < b < 1$ あれ？

疑問 $\text{not}(0 < b < 1)$ が出るはずなのに $0 < b < 1$ が出てしまった。なぜだろう？

(1) 上の疑問に答えよ。

(2) 次の命題を「真」とするような実数の組 (a, b) を ab 平面に図示せよ。

$$(\forall x \in \mathbb{R})[a \leq x \leq b \implies b^2 \leq x \leq a+1]$$

解答はしばらくおあずけ。